

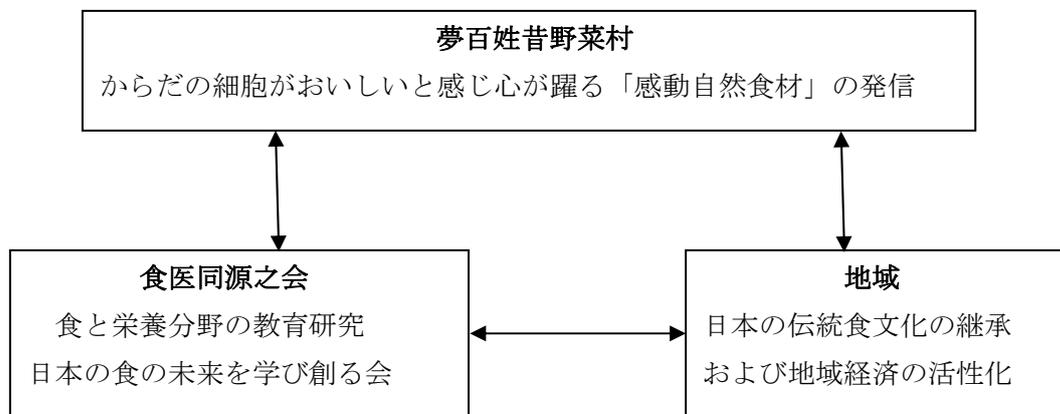
日本の伝統的な食文化の継承活動

[目的]地域の在来品種および特産物等を中心とした循環型・環境保全型の一次産業（農林水産業）を実践し、「安心・安全な食品」を生産・提供するといった「生産者から消費者までのシステムづくり」を支援することにより、日本の伝統的な食文化の良さを認識させ、その継承をはかり、ひいては日本の自給率を高めることを目的とする。

[理念] 循環型・環境保全型一次産業——>安全でおいしい栄養価の高い食品——>感動・安心・健康——>伝統的な食文化の見直し----->自給率の向上——>日本民族の維持・発展——>世界平和への貢献・地球環境の保全

[活動システム]

産学民ネットワーク



[具体的実践例]

1. 「日本のこだわり野菜&果実」の生産および販売
 - ・ 昔のようなコクと栄養価をもつ野菜・果実を昔のようにより自然な農法で栽培し提供する。
 - ・ 在来品種の継承と環境保全型農業の実践と普及
2. 「からだにやさしい食材研究」
 - ・ 在来品種および環境保全型農産物等の食品栄養学的研究
3. 佐渡・野浦地区の村おこし活動
 - ・ 環境保全型稲作「朱鷺の棚田米」の生産支援
 - ・ 「ビオトープ」(生物生息空間)等、朱鷺の棲息環境づくり支援
 - ・ 地域伝統食文化(海産加工品)の継承、普及による地域産業の活性化
 - ・ 地域伝統文化、無形文化財「文弥人形」の保存支援
4. 環境保全型農業の普及
 - ・ 食農教育・食育の実践
 - ・ 伝統的な食文化の継承活動(後継者育成)

**日本の伝統的な
食文化の継承活動(実践例1)**

種子島における

安納芋を例にした

産学民ネットワークシステムの構築

- 1 自然農法グループ 夢百姓昔野菜村、
- 2 食医同源之会